

発行
中平ひとし君を
育てる会

発行者
梶田民夫
久慈市新中の橋4-37-6
電話0194-61-1630
FAX0194-61-1631

明日のために全力疾走 明日は青空

県北をよくしたい

なかたい 中平ひとし

新年あけましておめでとうございます。皆様方におかれましては、恙無く新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

私たちが生活する県北地域は岩手県のなかでも相対的に社会基盤整備の遅れている地域であると思ひ、少しでもその改良に携れる仕事をしたいと考え、大学を卒業後、建設省の東北地方建設局（現国土交通省東北地方整備局）に入省し、建設行政の現場で約五年間働きました。

この間、数々の公共事業にかかわって参りました。青森の現場では、土地を手放す地主さん方の心情や、人間模様に接することができました。そこで得たものは、行政という窓口を通じて協力いただいた財産をいかに効果的に活用するかでありました。また、「公共事業」に課せられた役割と、



期待の大きさを知ることができました。しかし、より積極的に直接的に地元のために働くためにはどうしたらよいか考えると、どうしても、組織の中の一個人として限界を感じてしまい、その日々を重ねていくうちに、政治家への道を決意しました。

さいわい尊敬する小沢一郎先生の下で政治の厳しさ、たくましさや勉強することができました。先生から教わった「百術は一誠に如かず」（どんな沢山の手法も、一つの貫く誠にはかなわない）という人生訓こそ、政治家として、そして人として最も大事なことでと教わりました。この言葉を胸に、ふるさとのために全力を尽くしていく決意です。

今、国・地方を問わず、政治・経済・行政等のあらゆる分野において変革の大きな岐路に立たされています。国際化・情報化・高齢化の波が打ち寄せる中、医療・福祉・雇用、産業振興、安全な食糧生産、環境保護など、安心して生活できる社会への希求はますます強まっています。何れも政治がリーダーシップを発揮し解決していかねばなりません。このような時代こそ、既存の概念にとらわれない発想と価値観で、県北を覆う閉塞感を吹き飛ばす活力が必要なのです。

私はあふれる情熱と行動力をもって、ふるさとのために、これらの課題解決のため、懸命に取り組んでまいります。

皆様のご指導とご支援を心からお願い申し上げます。政治を志す所懐の一端とさせていただきます。

中平ひとしが掲げる基本政策

地方の時代をめざして

人口動態、産業集積の状況から見て、県北は県央、県南にくらべて閉塞感がただよっています。残念ながら地理的条件からみて、否めないものがあります。しかし県北だから発信できる「人材と資源」がたくさんあると思います。先取の情報をいかに活用するかにあります。

閉塞感のただよる在来の商店街は、構造的不況に立たされています。行政はこれまで魅力ある商店街づくりを柱に掲げてきました。これら施策の

少子高齢時代にそなえて

安心して子供を生み育て、安心して老後をおくれる住環境（社会福祉・保健、医療）、スポーツ振興施策の促進に努めます。わけても医療・福祉施策の充実こそ地域が求める課題と受けとめ、これら施策の促進に努めます。



個性を伸ばす 地場産業の促進に努めます。

閉塞感のただよる在来の商店街は、構造的不況に立たされています。行政はこれまで魅力ある商店街づくりを柱に掲げてきました。これら施策の

農林水産業の再生に努めます

農林水産業は、県北の基幹となるべき産業であります。この索引車であるべき産業の再生こそが政治がとりくむべき課題であります。この現状を地域自らの悲願と受け止め、地域における結いの文化「地産地消」の指向を育むため、支え合いの施策の推進に努めます。あわせて県政施策の促進に努めます。

未来をひらく 学びの環境整備に努めます。

楽しめる生涯学習、社会教育の施策の促進に努めます。地域に伝承する伝統芸能行事などに親しみ、後世に継承できるよう学術文化の施策を促し、社会教育の振興こそが要請されている課題であり、その推進に努めます。

次の世代へ誇りをもって 継承できる環境づくりに努めます。

天与の資源をまもり若い人たちが愛着をもって、定住できるふるさとづくりの推進に努めます。良い意味でのふるさと志向・アイデンティティを育む土壌づくりが求められています。その実現に向けた施策の推進に努めて参ります。

若さと行動力に期待する

中平均君は、私の秘書として政治の研鑽を積んで参りましたが、厳しい時代を迎えた今こそ、ふるさとのため粉骨砕身働きたいと強く決意し、立ち上がったところであります。中平君は誠実そのもの、そして行動力のある若き熱血漢であり、必ずや皆様のお役にたてるものと確信致しております。

私も共に皆様のご期待にお応えするよう努力して参りますので、どうか中平君をお育て頂き、特段のお力添えを賜りますよう、何卒よろしくお願い致します。

自由党党首 小沢一郎



熱い志と

斬新な発想

に期待します

会長 梶田民夫

皆様 明けましておめでとうござ
います。

昨年は「育てる会」発足と共に、多大なご協力とご支援を賜り衷心より厚くお礼申し上げます。2003年を迎えいよいよ目標達成の第一歩を踏み出す年となりました。記念すべき幕開けになるよう、決意を新たにしているところです。

さて、21世紀に入り三年目を迎えました。世界の動きはますます激動の様相を見せる中、国内ではデフレ不況を重く引きづり、「経済は停滞」、「政治は閉塞」し、ますます不透明感が漂っています。また目前には「環境・福祉・教育等々」あらゆる分野にわたって課題が山積しています。

このような時代背景のもとで、今世紀は地方分権の時代とも云われています。今後ますます分権社会へと加速が予測される状況にあります。

これまで以上に有能な人材の輩出が不可欠であるものと思われま。それだけに行政政治にかかわる人たちの手腕力量が問われ、その責務も倍加されるものと資料されるころであります。同時に選良を送り出す側にもその責任は一段と重くなること、これまた論を待たないところであり
ます。

中平均君は、若さとバイタリテイ、熱い志と強い信念・斬新な発想兼ね備えております。必ずやわれわれの期待に添えてくれるものと信じております。くわえて確たる理念と新しい価値観で、地方の個性を生かして得る活力に満ちた「新たな県北の創世」に邁進してくれるものと考え
ております。

皆様には輝かしい年の幕開けにあたり、夢のある未来のために一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

育てる会の動き

昨年5月「中平ひとし君を育てる会（会長・梶田民夫）」を政治団体としての届け出を済ませ、活動して参りました。

この間「中平 均」君は、久慈地区、野田地区のみならず、さまざまにお会いし、精力的に支持を呼びかけて参りました。お陰様で行く先々で励ましの言葉をいただき、意を強くしての活動を続けております。

これまでに大小あわせて30数カ所でのブロック集会を開き、すでに二桁の支部結成を頂きました。各地より戴きましたご協力を会員一同感謝しております。

また、新年にはいり、いよいよ会員一同「向かう道は一つ」と、精力的に活動を続けております。昨年末

で31歳の誕生日を迎えた「ひとし君」は、若さにかせてフル活動の毎日です。この後は、4月にそなえ気力十分で頑張ることを誓い合っております。

中平ひとし君は、これまで、建設省勤務の経験を糧とし、地域活性化の担い手として活動できる青年と自信を深めております。私共は中平君を、既成の枠にとらわれない「無垢の原石」と評しております。必ずや地域の方々の期待にそえるものと信じております。

久慈市、野田村のみならず、まのご支援を心からお願い申し上げます。

中平ひとし君を育てる会

幹事長 伊藤 良一



中平 均プロフィール

氏名 中平 均
 生年月日 昭和46年12月3日
 現住所 〒028-0071岩手県久慈市小久慈町32-2-1
 電話0194-52-3176
 連絡先 〒028-0023岩手県久慈市新中の橋4-37-6
 中平ひとし君を育てる会事務局
 電話0194-61-1630 F A X 0194-61-1631
 http://www.nakatai.net
 e-mail: hitoshi@nakatai.net

学歴・職歴
 平成2年3月 岩手県立久慈高等学校卒業
 平成6年3月 岩手大学人文社会科学部卒業
 平成6年4月 建設省東北地方建設局入省
 平成11年1月 同省 退職
 平成11年3月 衆議院議員 小沢一郎秘書
 現在に至る。